

RPSGT取得のすすめ

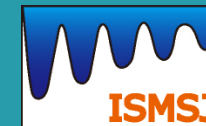
2020年11月版

Integrated Sleep Medicine Society Japan (ISMSJ)



ver 2.0

はじめに



作成にあたって

この資料はRPSGTを目指す医療従事者を対象に、RPSGT取得の意義や方法について解説したものです。

本資料は**2020年11月時点**の情報に基づき作成しています。最新情報については [BRPTウェブページ](#) などから随時ご確認ください。

免責事項：本資料の内容に関連し各個人で発生した事象につきましては、ISMSJおよび作成協力者は一切責任を負えませんのでご了承ください。

本資料の無断複製・転載を禁じます。ただし本資料が掲載されているISMSJウェブページ内の[“RPSGTへの道”](#)ページにはリンクフリーです。

作成協力者

赤堀 真富果 (中東総合医療センター 診療技術部検査室/睡眠医療センター)

小栗 卓也 (公立陶生病院 脳神経内科)

柏井 八重子 (大阪回生病院 睡眠医療センター)

立花 直子 (関西電力病院 睡眠関連疾患センター)

淡野 桜子 (愛媛大学医学部附属病院 睡眠医療センター)

茶谷 裕 (松本内科胃腸科)

村木 久恵 (朝日大学病院 睡眠医療センター)

敬称略，五十音順（全員RPSGT取得者）

RPSGTとは

Registered Polysomnographic Technologist

- BRPT（RPSGT認定委員会）が認定する睡眠技士認定です
- BRPTが実施する認定試験に合格することにより認定されます
- 認定試験を受けるには一定の教育プログラム履修や実務経験・医療資格が必要です（日本国内での実務経験や医療資格でも受験資格を得ることができます）
- RPSGTを保持することで、一定水準の睡眠検査の技術・経験を有していることの証明になります（睡眠技士のキャリアが確立している米国では雇用や待遇に反映される）

ポイント RPSGTはBRPTによる認定です

AASM（米国睡眠医学会）やAAST（米国睡眠技士学会）による認定ではありません

BRPT はRPSGTを認定する団体です

Board of Registered Polysomnographic Technologists



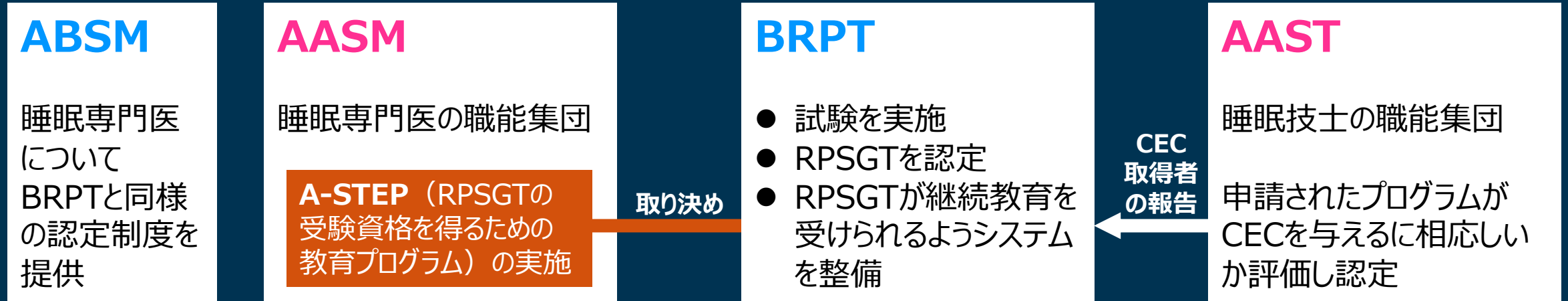
BRPTウェブサイト
<https://www.brpt.org>

- 国際水準の資格認定を提供することで、質の高い睡眠技士や睡眠医学のヘルスケアプロバイダーを育成することを目的として設立された学会や公的機関から独立した非営利認定委員会です
- 国家資格証明委員会（National Commission for Certifying Agencies, NCCA）に公認された資格認定プログラムを策定しています

RPSGTの認定は

BRPTが設ける受験資格を備えた人が、
BRPTが実施する試験に合格し、
BRPTに認定されることで取得でき、
BRPTが設ける条件の継続教育を受けることにより更新できる

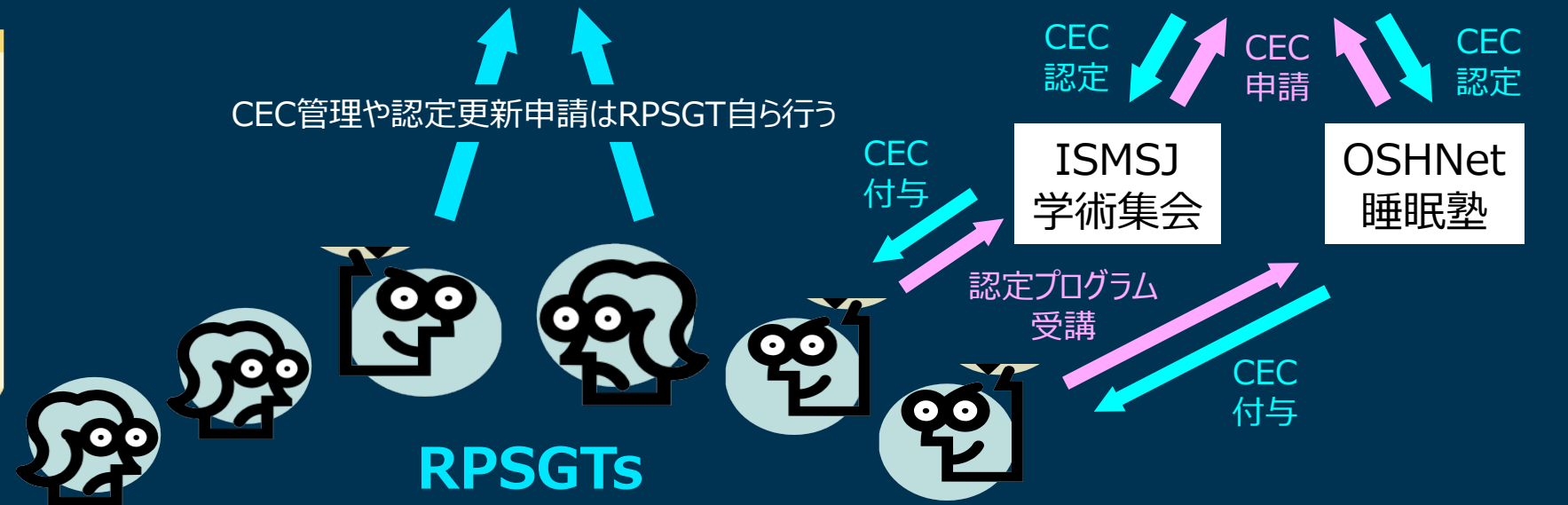
BRPTと他の団体との関係



ポイント

米国で専門資格を認定するのは学会（職能集団）とは別の第三者の認定団体です

『〇〇学会認定専門医・技師』という日本の制度とは異なります



RPSGTは資格更新のために決められたCECを取得することが必要（5年で50CEC）
CECについては7ページ目参照

日本の睡眠医療従事者にも RPSGT取得をおすすめする理由

1. 現在の日本の睡眠診療は、既存のさまざまな専門領域（〇〇科）のもとでそれぞれの都合に合わせる形で行われていることが多く、独立すべき分野として認知されていない
2. 従事者個人でも職種や専門領域の出自がさまざま、共通言語とすべきPSGへの関わりもさまざま
3. つまり日本では学問領域としても従事者個人としても、睡眠医学のアイデンティティが確立していない
4. よって従事者に必要とされる知識や技能・担うべき業務も規定されないまま
5. このままでは、われわれ睡眠医学に関わる医師や睡眠技士のキャリアが確立しない



職種や専門領域を超えて睡眠医学のプロフェッショナルとしてキャリアを築くために
日本で睡眠医学を主要な専門領域として確立させていくために
RPSGT取得をおすすめします

RPSGT取得の過程でこんなメリットが

● RPSGTの取得過程が、睡眠医学を体系的に学ぶ出発点になる

認定試験を受けるには、臨床経験に加えAASMスコアリングマニュアルやICSD-3など最低限基準となるものに目をとおす必要があります。また参考書籍（Sleep Medicine Pearlsなど）でエッセンスを学び、必要に応じ問題集で知識を固めていきます。これらの過程で不足する知識の穴埋めを行い、知っていることは更に理解を深め、体系的に睡眠医学を学んでいくことができます。

● RPSGTの更新過程が、睡眠医学の継続教育の機会になる

取得したRPSGT認定を維持するには、継続的にCEC（continuing education credits）を取得していく必要があります。CECは学会や研究会・webセミナーのCEC認定プログラムに参加したり、オンライン教育プログラムを受講して取得できます。CECを集める過程は知識の再確認やアップデートの貴重な機会になります。

● 米国の睡眠医学で、PSGがどれだけ重要な位置付けにあるかわかる

医師も睡眠技士もPSGを共通語として「睡眠医学」が成り立っており、PSGがどのように利用されているかを知ることができます。

● 米国の睡眠医学で、プロフェッショナルとして必要とされる仕事ができる

睡眠専門医も睡眠技士も全く新たな専門職であり、成立し続けるにはアイデンティティが非常に重要です。自分たちにしかできない仕事を確立していくことで、どのようにアイデンティティを確立させてきたか、理解することができます。

RPSGT Exam はどんな試験？

RPSGT Exam Blueprint

- 2020年11月現在，本試験は**2018年5月発効の試験計画**に基づき行われています。
- 米国の認定試験ですが，Pearson VUEという認定試験専門企業に委託して実施されており，**日本国内の指定会場**で受けることができます。
- コンピューター操作による多項選択式試験で，**180分で175問**を解きます。うち採点対象は150問で，残りの25問は採点に含まれないプレテスト問題です。プレテスト問題はBRPTが今後の試験に活かすための問題で，試験中ランダムに提示されます。
- 受験者により試験問題が異なるため，合否結果は素点ではなく調整点で判定されます。調整点の値域は200～500点で，**ボーダーラインは350点**です。
- 受験料は450USドルです。

受験に必要な知識

受験に必要な最小限の知識

医学用語
安全確保
コミュニケーションスキル
倫理

守秘義務
救命救急と緊急時の対応
基本的な数学のスキルと計算
コンピュータースキル

過去の合格者が十分備えていた知識

睡眠関連疾患とその診断基準
睡眠が関連する併存症
解剖学と生理学
神経生理学
循環生理学
呼吸生理学
睡眠生理学
スコアリングルール

臨床指針 (practice parameter)
試験手順
処方薬と市販薬
コンピューターの基本的知識
脳波波形の形態
医療機器
機器による治療介入法
薬物による治療介入法

試験内容と設問配分



DOMAIN 1: CLINICAL OVERVIEW, EDUCATION, PATIENT SUPPORT 臨床概論, 教育, 患者サポート		17.3%
TASK A: Patient information and clinical assessment	患者情報の把握と臨床診断	42-58%
TASK B: Patient and caregiver education	患者と介護者の教育	23-28%
TASK C: Support and compliance	患者サポートとコンプライアンス	15-23%
DOMAIN 2: SLEEP STUDY PREPARATION AND PERFORMANCE 睡眠検査の準備と実施		29.3%
TASK A: Technical preparation	検査準備	25-34%
TASK B: Calibrations	キャリブレーション	7-11%
TASK C: Procedures and practice guidelines	検査手順と実施ガイドライン	27-36%
TASK D: Identify, respond, and document	検査中の所見の指摘と対応, 記載	30-39%
DOMAIN 3: SCORING, REPORTING, AND DATA VERIFICATION スコアリング, レポート作成, データの検証		25.3%
TASK A: Adult PSG	成人PSG	63-68%
TASK B: Pediatric and infant PSG	小児および乳幼児PSG	16-21%
TASK C: Report generation	レポート作成	13-18%
DOMAIN 4: THERAPEUTIC TREATMENT AND INTERVENTION 治療と介入		28%
TASK A: PAP therapy (e.g., CPAP, bilevel, ASV, NIPPV)	PAP療法	83-93%
TASK B: Oxygen therapy	酸素療法	5-10%
TASK C: Alternative therapies	代替療法	2-7%

RPSGTを受験するには

1. BRPTウェブページの **Candidate Handbook（出願要項）** に目をとおす
2. 5つの **Eligibility Pathway（受験資格）** のうち自分が該当するものを選ぶ
3. 必要書類を揃え、**BRPTポータルページ** から出願する
4. 希望した日時に試験会場（Pearson VUE testing center）で試験を受ける

RPSGT Candidate Handbook : <https://www.brpt.org/rpsgt/rpsgt-handbook/>
BRPT ポータルページ : <https://brptportal.cobaltsaas.com/>

RPSGTのEligibility Pathway (受験資格)

Pathway 1	Clinical Experience	睡眠検査等の関連領域で1,638時間以上の実務経験があり、かつSTAR認定セルフスタディ教育プログラムを修了している者
Pathway 2	Healthcare Credential	睡眠検査等の関連領域で546時間以上の実務経験があり、かつ別のヘルスケア関連の資格保持者
Pathway 3	CAAHEP/CoARC Student	CAAHEPまたはCoARC認定のPSG教育プログラムの卒業生
Pathway 4	Focused Training	睡眠検査等の関連領域で819時間以上の実務経験があり、かつSTAR認定Focused education（またはセルフスタディとFocused 2 educationの組み合わせ）を修了している者
Pathway 5	International Option	それぞれの国の科学・医学の関連分野の大学またはそれに準じる教育課程を修了し、現在PSG検査に従事している者

ポイント 日本在住者が選択可能なのは Pathway 2 または 5

Pathway 2と5で必要とされる条件の比較

	Pathway 2	Pathway 5
実務経験 Clinical Experience	過去3年間で546時間以上の臨床経験が必要 (その中にはPSGを直接患者に実施するかPSGのスコアリングが含まれなければならない)	
実務経験の証明書 Verification of Experience Proof	所属施設の正式なレターヘッドを含む書式で、指導者のサイン入りの証明書を提出	
学歴として必要とされる内容	以下の証明書で代用	科学もしくは医科学、あるいはカリキュラムにヒトの解剖学や生理学が主たるものとして含まれている課程を第3次教育（大学またはそれに準じる教育課程）として修了していること
資格証明書または学歴証明書 Healthcare Credential Proof Completion of Tertiary/Post Secondary Education Proof	現在のヘルスケア資格証明書を提出 (日本在住者の場合、医師免許や臨床検査技師免許などの英文証明書)	上記の教育を米国外で受けたという証明書 (日本在住者の場合、卒業大学発行の英文修了証明書など)
米国外居住の証明書 Proof of Residency Outside of the US	不要	提出が必要
BCLS等救命講習の修了証 Valid BCLS Certification or Equivalency	提出が必要	提出が必要

Q1. 受験資格は Pathway2 と Pathway5 のどちらを選べばよいのでしょうか？

A1. Pathway2は他の医療資格を保持している医療従事者向けの選択肢です。米国では専門教育プログラム履修と一定の実務経験があれば、他の医療資格がなくともRPSGTの受験資格を得ることができます（Pathway1,3,4）。Pathway2は他の医療資格を保持していることで、専門教育プログラム履修が免除された選択肢です。米国の医療従事者を念頭に置いた選択肢ですが、日本の医療従事者も通常は医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学技士などの国家資格を有していますので、一定の実務経験があればPathway2の条件を満たすことになります。

一方Pathway5は、米国外の睡眠検査従事者にも門戸を開くべく、2013年に新設された選択肢です。志願者の背景は国や地域によって異なりますので、「一定の実務経験 + 医科学系の第3次教育修了」と幅広く受け入れられる条件になっています。

最終的な受験資格についてはBRPTによる個別審査となります。実際のところ、2018年5月の試験制度変更後、Pathway2と5のそれぞれで日本からの出願者が受験資格を得ることができたとの実績があるようです。ただしBRPTがPathway5を“International Option”と位置づけていることから、書類が揃うのであればPathway5のほうがより確実に受験資格が与えられるものと思われます（今後も米国外の医療資格でPathway2が認められるか不透明）。なお出願内容に不備や不明な点がある場合、所属先の指導者に疑義照会が届くことがありますのでご注意ください。

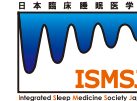
FAQ

Q2. 実務経験の証明書 (Verification of Experience Proof) はどのように準備するのですか？

A2. 所属施設の指導者に依頼してレターヘッド入り書式で英文の証明書を作成してもらいます。レターヘッド入り文書は馴染みが薄いかもしれませんが、文書がその施設で正式に発行されたものであることを示すために用いられています。通常レターヘッドは文書の上部または下部に配置され、施設のロゴや施設名・住所・連絡先などが含まれています。なお本証明書には内容を保証する指導医の直筆サインが必要です。

実務経験の証明書の例

(実際には各病院/大学ロゴ)



〇〇〇 Hospital
1-2-3 ***, ***-ku, Tokyo 162-****, Japan
TEL/FAX: +81-3-****-****

APPROVAL CERTIFICATE

Nov 1st, 2020
Board of Registered Polysomnographic Technologists,

Regarding: **TARO SUIMIN**
Title: Medical Technologist
Phone: +81-3-****-****
Mail: ***@***.com

This is to verify that **TARO SUIMIN** has been employed with 〇〇〇 Hospital since Apr 1st, 2010 as a medical technologist in the Center for Sleep-related Disorders. He has over 546-hour experience on recording and scoring of PSG.

Sincerely,

ここに指導者の直筆署名を記入

HANAKO SUIMIN, MD, PhD
Director,
Center for Sleep-related Disorders
〇〇〇 Hospital

Q3. ヘルスケア資格証明書（Healthcare Credential Proof）はどのように準備するのですか？

A3. e-GOV（電子政府の総合窓口）ウェブページの『[医師等医療関係資格者の英文証明書申請手続](#)』をご覧ください。2020年11月時点では電子申請できず、郵送による書面申請のみとなっています。申請から交付まで最低1ヶ月かかるようですのでご注意ください。

[外部リンク]

<https://shinsei.e-gov.go.jp/search/servlet/Procedure?CLASSNAME=GTAMSTDETAIL&id=4950000020178&fromGTAMSTLIST=true&SYORIMODE=>

Q4. 米国外居住の証明書（Proof of Residency Outside of the US）はどのように準備するのですか？

A4. 本証明書は、米国内の睡眠技士の雇用機会維持のため、米国外居住者がRPSGT認定を利用して米国内で働く意志がないことを示すために提出します。実際には『**英文の銀行残高証明書**』や『**国際運転免許証**』などを証明書として代用します。前者は自分が口座を開設している銀行で、後者は居住都道府県の公安委員会で発行してもらいます。いずれも自分の氏名・住所が英語で記されていることと、発行人の直筆の（または直筆を印刷した）サインが記されていることが重要なようです。

Q5. BCLS等救命講習の修了証（BCLS Certification or equivalency）はどのように準備するのですか？

A5. 日本ACLS協会や日本救急医学会などが主催するBLS（Basic Life Support）講習会を受講し、修了証や合格認定証を発行してもらいます。前者主催のBLS講習会は日本各地で行われ、英文の合格認定証（カード）を発行してもらえます。いずれの認定も一定の有効期限があり、RPSGT更新時にも有効期限内の修了証を保持している必要があります。

FAQ

Q6. Pathway5で卒業後に名字が変わった場合に必要な手続きは？

A6. 学校によっては改姓後の名字で卒業証明書を発行してくれる場合があるので、まずは問い合わせましょう。もし学校が改姓後の名字での卒業証明書発行に応じてくれない場合、改姓を証明する書類を自分で準備しなければなりません。一般には以下のような方法があります（ただしBRPTに有効な書類と認めてもらえるどうか未確認です）。

1. 旧姓が併記されているパスポートを持っている方は、その写しを提出する。
2. 戸籍謄本の写しを英訳付きで提出する。自分で英訳するか、戸籍謄本英訳サービス（数千円程度）を利用し「卒業証明書の人物が自分と同一だと証明するために戸籍謄本と翻訳を送ります」という内容の文章を添えて提出する。

戸籍謄本の英訳例

Translation of Abstract of the Family Register Certification of Individual Registration		
Permanent domicile	*.*.* Nerima Ward, Tokyo	
Name (Householder)	Taro SUIMIN	
Matters of Family Register Compilation of Family Register	[Date of Revision]	January 10, 2010
Person Recorded in the Family Register	[Name]	Hanako
	[Date of Birth]	December 31, 1980
	[Marital Status]	Wife
	[Father]	Ichiro NEMUI
	[Mother]	Niko NEMUI
Matters of the Personal Status Birth	[Relationship]	First daughter
	[Date of Birth]	December 31, 1990
	[Place of Birth]	Midori Ward, Yokohama City, Kanagawa
	[Date of Notification]	January 5, 1980
	[Person Who Made the Notification]	Father
Marriage	[Date of Receipt]	January 10, 1990
	[Person Who Accepted the Notification]	Head of Midori Ward, Yokohama City, Kanagawa
	[Date of Marriage]	January 1, 2010
	[Name of the Spouse]	Taro SUIMIN
	[Date of Receipt]	January 10, 2010
[Person Who Accepted the Notification]	[Date of Receipt]	January 10, 2010
	[Person Who Accepted the Notification]	Mayor of Kanazawa City, Ishikawa
	[Previous Family Register]	*.*.*.*, Suimin-cho, Midori Ward, Yokohama City, Kanagawa, Ichiro NEMUI
Blank below		

Number of Issue: *****

This document certifies all the recorded matters on one of the persons of Family Register.

Nov 1, 2020

Jiro NERIMA
Head of Nerima Ward

SEAL

I certify that the foregoing is a correct translation.

Translator's Name : Saburo IBIKI Date: Nov 30, 2020

Translator's Signature: